高大連携

横浜創英では、今の高校生に十分な可能性があることを信じています。アプローチ次第では、社会的な課題を分析し、達成可能な未来図を描いて解決し、新たな価値を創出することができる資質を兼ね備えていると考えています。そのためには、高校時代から社会とつながる経験を積ませる必要があり、高大連携はそのための重要な柱であるととらえています。

ＷＨＹ　なぜやるのか

本校では、高校を社会で活躍する準備の場に変えていく、社会で必要な経験を高校が提供していく、それを基本的な考え方に、社会とつながることを目標としたカリキュラムを構築しています。近い将来、今ある企業の多くは形を変えていくでしょう。人口の豊かな時代であれば、成功している企業の真似をしていれば良かった。でも、今の時代は真似事ではなく、人が誰もやっていないことを考え、実行していく力がないと、社会を生き抜くことはできません。

ＨＯＷ　どうやるのか

日本の中等教育で連綿と続いてきた広く浅くのリベラルアーツから脱却して、自分の強みや尖がりを高校時代から意識をさせる環境を作っていきたいと考えています。新しい教育課程では高校３年生の午後を自由選択の時間帯としましたので、通年で大学の講義を受け、それを高校の単位として認定するシステムを構築しています。また、大学が開催する長期休業中の集中講座を公開し、本校の多くの生徒が講座に参加することで、大学や社会とつながることを目指します。